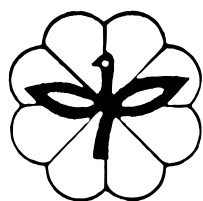


稲美町民生委員児童委員協議会



民児協だより

第46号
令和8年10月
発行

発行者 民児協 広報委員会 事務局 健康福祉部地域福祉課 電話 492-9136

稲美町民生委員児童委員協議会総会を開催

令和8年5月14日(木)に稲美町役場4階コミュニティセンターホールにおいて総会を開催しました。



全員で民生委員・児童委員信条を
唱和

ご来賓として

稲美町長

中山 哲郎 様

稲美町社会福祉協議会会長

中谷 範之 様

東播磨県民局

加古川健康福祉事務所福祉室長

藤本 和久 様

以上3名の皆様にご臨席をたまわり、ご挨拶をいただきました、ありがとうございました。

冒頭、全員起立し「民生委員・児童委員信条」を唱和、令和7年度の活動報告・決算報告、また、令和8年度の年度活動計画、予算案等を審議・決議し、これまで以上に地域の皆さまに信頼され、頼られる民生委員・児童委員活動の推進に向け意識統一を図りました。

高齢者訪問事業を実施しました

昨年12月に新しく民生委員・児童委員となった新任委員にとっては初めての地域住民との対話の場となる高齢者訪問を5月から6月にかけて実施しました。今年度は町内の85歳以上の高齢者の方、約1,570名を対象に訪問しました。慣れないこともあり突然の訪問等で驚かれた方もおられたかと存じますが、皆さまのご協力のおかげで今回の高齢者訪問事業も無事に終わることができました。

高齢者訪問を終えての感想

○新任委員として初めての大きな活動である高齢者訪問。どのように話を切り出せば良いのかと心配して臨みました。生まれ育った地でありながら、日頃はお会いすることのない方々のご自宅を訪問させていただくと、高齢者の方から「〇〇さんかいな」とお声かけを頂きホッとした思いでした。小さい頃の話が話題になったり、思い出話を聞かせていただいたりしました。今後お会いした時には気軽にお声かけできればいいなと思いました。(A委員)

○高齢者訪問をしてみて対象世帯の半数が近隣の方で、普段は挨拶する程度でしたが、色々なお話を聞けたり、ご家族の方にも会えました。久しぶりに話をし、また少し離れた所の方は初めてお会いする方が殆どでしたが自己紹介させていただくと、初対面の私に優しく接して頂いてとてもありがたかったです。また、グラウンドゴルフで優勝されたお話などもお聞きすることができ、とても有意義な訪問活動が出来たと思っております。(B委員)



「朝のあいさつ運動！」実施 (R8.5.12)

子どもたちとのつながりの基本はあいさつであることに改めて気づき、民生委員・児童委員が、町内の各小学校の登校時に、校門前でのあいさつと声掛けに取り組みました。

朝の清々しい空気の中、元気に「おはようございます」と、朱色のユニフォームで立ち並ぶ私たちに返答してくれる子どもや、はにかんで足早に通りすぎる子どもなど反応は様々でした。あいさつ運動によってお互いの顔が分かり、子どもたちとのつながりが深まっていく実感が得られ、続けることが大切だと感じました。



加古小学校



天満小学校



母里小学校



天満南小学校



天満東小学校

民生委員・児童委員の日街頭啓発活動 (R8.5.12)

毎年5月12日は「民生委員・児童委員の日」です。民生委員・児童委員の活動を知っていただくため町内5店舗の軒先をお借りし、街頭啓発活動を実施しました。「何か？」と怪訝な顔をされる方もおられましたが街頭啓発活動の趣旨を伝え、ティッシュを配布すると「ご苦労さま、頑張ってください」と暖かく応えていただく場面もあり、こちらが元気をいただきました。ありがとうございました。

コープ稲美前
(加古ブロック)フーディーズいなみ前
(天満ブロック)マルアイ稲美店前
(母里ブロック)マルアイ六分一店前
(天満南ブロック)にじいろふぁ～みん前
(天満東ブロック)

稲美町民児協県外研修 (R8.6.24・25)

(1日目) 津山市民生児童委員連合協議会会長の講演

研修1日目は岡山県の津山市役所にて、津山市民生児童委員連合協議会の高山科子^{たかやましな こ}会長に講演をいただきました。高山会長は、平成7年に民生委員・児童委員に委嘱されて以来30年以上にわたりご活躍されています。

ご自身の生い立ちから始まり、民生委員・児童委員になられてから全国民生委員児童委員連合会の会長になられるまでのお話に加え、自身の思いを実現し、より良い支援を行うためには、地域住民の立場に立つことが大切だと教わりました。高山会長よりいただいた「隣人愛を持ち、楽しみながら活動に取り組む」というアドバイスを胸に、今後の活動に取り組んでいきたいと思います。

そして、お金をかけなくても出来る「あいさつ運動」の重要性を話され、ご自身の連絡先を、我々全員に伝えられ「私は24時間365日、いつでも相談にのるよ」とのありがたいお言葉をいただきました。



(2日目) 国立療養所「長島愛生園」見学



研修2日目は、国立療養所「長島愛生園」を見学しました。

現在、差別の対象となってしまったハンセン病に対する正しい理解は以前と比べて向上しましたが、社会的弱者に対する偏見や差別は、今なお根深いものがあり、偏見や差別のない社会への人権啓発に向けて、ハンセン病の歴史から多くの事を学びました。

当日はあいにくの雨のため、本来ならば2～3時間かけて施設内を見学して回る予定でしたが、施設内での学芸員さんの講話と映像による学習で、貴重な時間を過ごしました。ありがとうございました。

民生委員・児童委員として差別や偏見のない社会づくりを目指し、活動に取り組んでいこうと思いました。ハンセン病は、もう過去の事のように感じておられる方もいるかとも思われますが、先のコロナ感染症、最初に患者が出始めた頃、地域や学校での対応はどうだったのでしょうか、そして自分自身はどう行動したのでしょうか、今一度、振り返ってみてください。

民生委員・児童委員、協力委員との合同研修会

令和8年7月4日(土)、稲美町役場4階コミュニティセンターホールで民生委員・児童委員と協力委員との合同研修会を開催しました。研修内容は「傾聴講座」で、民生委員等としての資質向上に向けた研修で全員が熱心に勉強していました。

研修講座 「傾聴講座」

講師 一般社団法人聴きプロ.com 北原 由美 氏

「傾聴のエキスパート」である講師をお迎えして、民生委員・児童委員、協力委員の活動に大切なコミュニケーション、話の聴き方を教えていただきました。実際にボールを使ってキャッチボールをする動きを交え、わかりやすく説明を受けました。話し手が話す、聴き手は話を聴く。まず聴くことにより相手に「安心感をもってもらう」ということ「話しやすい雰囲気をつくる」ということ、隣の席の人と話し手と聴き手に分かれ、相互に話をする実践も行いました。聴き上手になり、地域住民の身近な相談相手として日頃の活動につなげていければいいな、と思いました。(C委員)



いなみっこ広場夏まつり

令和8年8月2日(日)に「いなみっこ広場夏まつり」が開催されました。当日は厳しい暑さの中ではありますが、約100組の親子の参加があり、大盛況となりました。

子どもたちは様々なゲームや工作に夢中で挑戦！民生委員・児童委員も工作やボールコーナーを担当し、イベントを盛り上げました。

初めての試みとなったステージ企画（マジック・歌・踊り）や、イメージキャラクター「いなっち」の登場に会場は大盛り上がり！子どもたちの輝く笑顔から、たくさんのパワーをもらった一日となりました。



新任民生委員・児童委員紹介

令和8年8月1日付で天満ブロックの委員が新しく就任しました。

竹中 啓子 (たけなか けいこ) さん・国安団地地区

編集後記

昨年12月に民生委員・児童委員が改選され、この半年間、新任の民生委員・児童委員としてどうあるべきか、研修や心構え等を学んできました。5月から6月にかけては、初めての実践活動として高齢者訪問事業に取り組み、少し民生委員・児童委員としての自覚が芽生えてきたかな、と感じています。

この「民児協だより46号」も私たちにとっては2号目の発行となります。記事の内容もまだまだ手探りの状況ですが今後より一層の充実を図り、より多くの町民の皆さんに読んでいただける紙面づくりに努めてまいりたいと思います。

広報委員会

大岡 肇	辻元 久一
佐藤 艶子	中吉 仁
山田 佳文	吉田 ゆかり
渡邊 千砂	大崎 佳苗